

教育委員会だより

「自主」と「共生」～自己肯定感

令和元年 8月16日号 多治見市教育委員会 教育総務課

多治見市小中学校音楽クラブ発表会



7月22日(月)、バロー文化ホール大ホールを会場に、多治見市小中学校音楽クラブ発表会を開催しました。この発表会は、市内小中学校で、クラブ活動や部活動で、日常的に音楽活動を行っている児童生徒の活動発表の場として行われており、本年度で38回目となりました。

この日の多治見市は、あいにくの雨模様でしたが、8中学校の生徒の、息の合った演奏はとても素晴らしく、ホールに響き渡るハーモニーからも、奏でられる音の一つ一つからも、この日までに築き上げた各チームの絆と、一人ひとりの成長を確かに感じ取ることができました。

多治見市小中学校音楽主任会及び小中音楽研究部会の先生方、ご指導いただきました、岐阜聖徳学園大学の石田靖彦先生に厚くお礼申し上げます。

「得意セミナー」「教師塾セミナー」を開催しました



教育委員会では、子どもたちの学びの機会の広がり、教員の指導力向上のために、夏休み期間を利用して表題のような講座を実施しています。

「得意セミナー」は、教員が特技や専門性を生かして、児童生徒または親子を対象に開催する講座で、7月23日(火)から8月2日(金)までの間、43名の市内教職員及び関係者の協力を得て、全14講座、「教師塾セミナー」は、教員を対象に行う研修講座で、7月30日(火)、及び8月2日(金)、21名の市内教職員及び関係者の協力を得て、全14講座を開催しました。

8月1日(木)、陶都中学校では、同校教務主任の勝野和広教諭による「あなたの知らない家庭学習の世界～自分の学習スタイルを見つけよう」の講座が開催されました。17組34名の親子が参加し「60分でなく、20分を3コマと考えると取り組む」「何をするかを付箋に書いて貼り、終わったらはがす」等、意欲と能率が上がる家庭学習の方法について学びました。参加者からは「20分ごとに勉強をすることや高校生になるまでスマホは持たない(とよい)ことがわかりました。実践します(小5)」等、意欲的な感想が多く寄せられました。

第26回連合生徒会



8月5日(月)・6日(火)の2日間、とうしん学びの丘エールと地球村を会場に、令和元年度の連合生徒会を開催しました。市内全8中学校の生徒会役員が一堂に会し、リーダー研修や情報交流、活動報告及び次回のテーマについての話し合いを行いました。

1日目の研修の中心は、文字職人杉浦誠司さんの講義でした。自分の夢を定め、それが叶ったと仮定して自分にお礼の手紙を書き、それを互いに交流して祝福し合う等の活動を交えながら、夢をもち、願うことの素晴らしさを2時間以上熱く語っていただきました。その後は地球村に移動し、炭焼きバーベキューの夕食をとりながらの情報交流です。親睦を深めながら、それぞれの学校の委員会活動の数や種類、仕事内容について語り合う姿も見られ、有意義な時間でした。

翌日は再度エールに集合し、活動交流を行いました。「良さ見つけは、姿だけでなく、その背後にある心の値打ちに想いを向ける(多治見中)」「上級生が下級生に直接教えることで伝統を伝える(平和中)」「アドバイスカードで掃除の質を高める(小泉中)」「ハイタッチ挨拶・良さみつけの木(南ヶ丘中)」「挨拶活性化のプロジェクトA(北陵中)」「ボランティアの参加率90%以上(南姫中)」「よさを伝え合うことで自分の行動に自信を(笠原中学校)」「見つけ掃除等3学年の連携が取れて姿が向上した縦割り掃除(陶都中)」等、それぞれの学校が大切にしている活動について発表しました。凛々しい姿から、具体的な事実や成果とともに、学校や仲間に対する信頼と誇りが伝わりました。

それぞれの発表に対しては「アドバイスカードはとってもいいが、どんな内容を書いたのか」「縦割り掃除はどんな頻度で行い、チームはどうやって決めたのか」等、的確な質問が相次ぎ、自分たちの学校をよりよくしたいという強い意欲が伝わってきました。

充実した2日間でした。各校生徒会顧問の先生方をはじめ、お世話になった全ての皆様に厚く御礼申し上げます。

<9月の行事から>

- 7日(土) 市科学作品展(8日(日)まで)
バロー文化ホール
- 14日(土) わがまち多治見大好き講座④
「美濃焼名人になろう2019Ⅱ」(38名)
- 17日(火) 就学等支援委員会②

<10月の行事から>

- 11日(金) 市内小中前期終業式
- 15日(火) 挨拶で絆の日
- 17日(木) 市就学等支援委員会③
- 24日(木) 市小学校音楽祭
- 26日(土) わがまち多治見大好き講座⑤
「見て聞いて描いて触れる多治見修道院」